



サーモスタット ユニット

壁付タイプ

取扱施工説明書

施工前・使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。
この取扱施工説明書は、別紙「安全上のご注意」と合わせてご使用ください。

このたびは、サーモスタットユニットをお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

施工の前に…

- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本製品は、正面に向かって左が給湯、右が給水となっています。
逆配管の場合は、取付けの前に「逆配管アダプター(品番0122:別売)」をお求めいただき付属の取扱施工説明書に沿って取付けてください。

施工時について…

- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

使用用途について…

- 本製品は、単水栓と組み合わせて使用する製品です。その他の用途では使用しないでください。

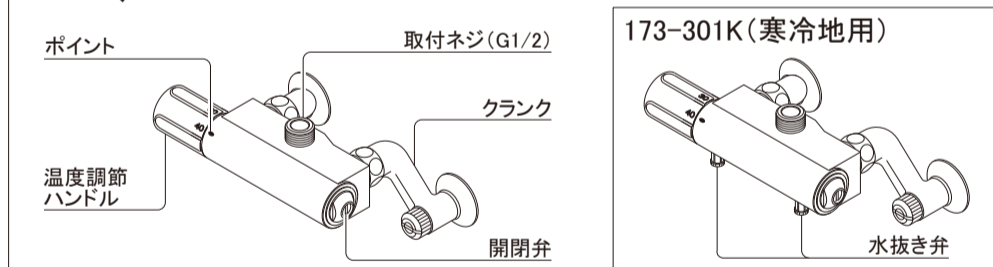
製品同梱明細

品名	本体 (G1/2ねじ)	クランク (2コ)	座金 (2コ)
173-301	○	○	○
173-301K	○	○	○
DD173-301-DS	○	○	○
DD173-301-DG	○	○	○
DD173-301-WS	○	○	○
DD173-301-WG	○	○	○

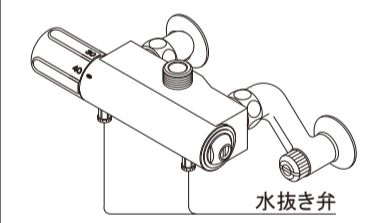
* 上記部材に加えて、
● 取扱施工説明書 ● 安全上のご注意 ● 保証書 を同梱しています。

各部のなまえ

173-301、DD173-301-DS・DG・WS・WG



173-301K(寒冷地用)



施工に必要な工具

●モンキーレンチ



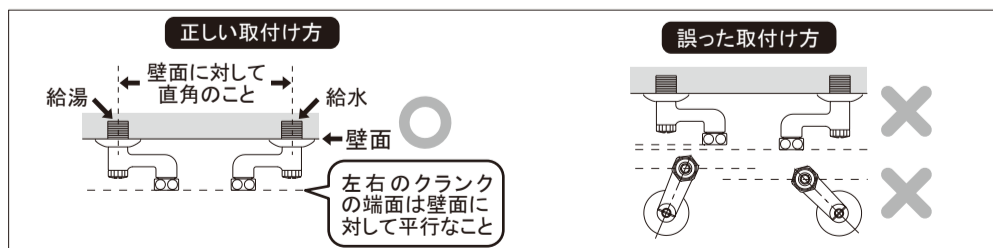
●シールテープ



取付方法

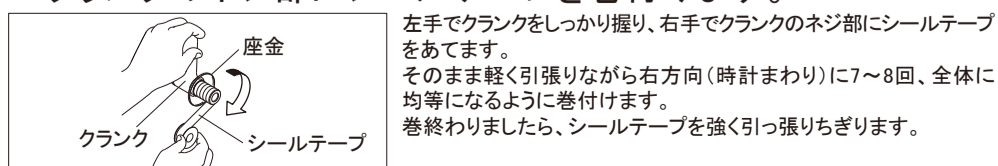
* 数秒間水を通し、配管内のゴミなどを洗い流してから、元栓を閉めて取付作業を行ってください。

1. クランクの位置を確認します。



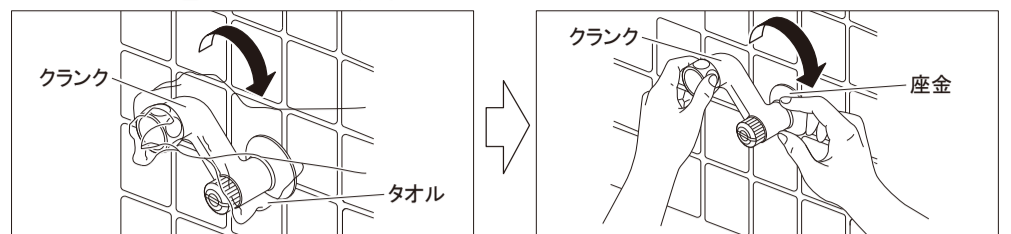
本品のクランクをそのまま壁に取付け、ナットの端面が図のように壁面に対して平行であり、ナットの中心の位置がそれぞれ同じ高さになる時の、クランクの回転数を確認して覚えておきます。

2. クランクのネジ部にシールテープを巻付けます。



取付方法(つづき)

3. クランクを取付けます。



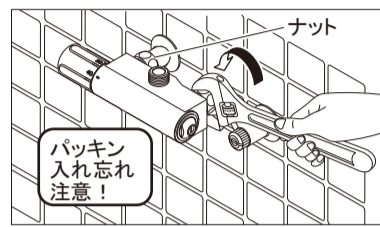
①クランクにタオルをあて、あらかじめ確認した回転数より、1回少ない回転数まで右方向(時計まわり)にまわして締付けます。

②締め終わりましたら座金をまわし、壁に密着させます。



クランクを取付ける際、逆方向にまわしてゆるめると漏水の原因になります。もしも、ゆるめてしまった場合は、もう一度「取付方法」2.からやり直してください。

4. サーモスタットユニット本体を取付けます。

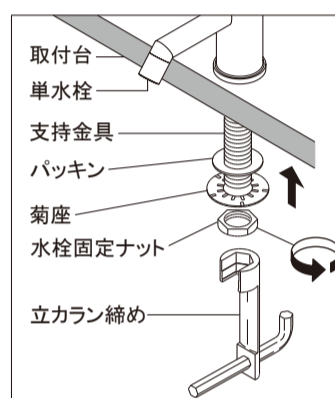


クランクのナットにクランクパッキンをはめ込み、サーモスタットユニット本体をクランクに取付けます。次に「レンチ」などでナットを左右均等にしっかりと締付け、サーモスタットユニット本体をクランクに固定します。



サーモスタットユニット本体は、重量があります。落下などに十分注意して作業を行ってください。

5. 単水栓本体(別売)を取付けます。



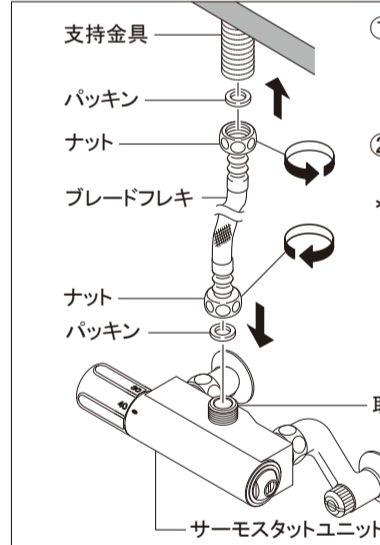
図のように使用する単水栓本体を取付台に設置します。
* 既設の単水栓本体を使用する場合は、支持金具と止水栓を接続している給水管などを取り外してください。



上図は代表的な単水栓ですので施工の際は単水栓に付属の説明書等をご確認ください。

6. サーモスタットユニットと単水栓を接続します。

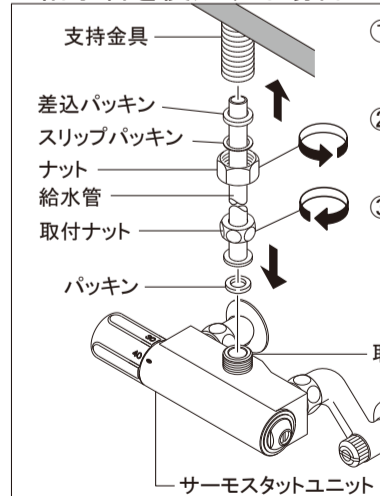
●ブレードフレキを使用する場合



①パッキンをブレードフレキの一方のナットにはめ込んでから、ナットを支持金具に「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。

②ブレードフレキのもう一方のナットをサーモスタットユニットの取付ネジに「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。
* パッキンの入れ忘れにご注意ください。

●給水管を使用する場合



①給水管に、取付ナット、ナット、スリップパッキン、差込パッキンを順にはめ込みます。

②給水管を支持金具の奥までしっかりと差込み、ナットを「レンチ」などでしっかりと締付けます。

③パッキンを取付ナットにはめ込んでから、取付ナットをサーモスタットユニットの取付ネジに「レンチ」などでしっかりと締付けて固定します。

取付後の点検

- ①元栓を開き、各部に漏水がないかを確認してください。漏水が発見された場合は、元栓を閉め、漏水する箇所を施工し直してください。
- ②サーモスタットユニットの開閉弁を開いてから、単水栓のハンドルを開き、各部に漏水がないか確認してください。漏水が発見された場合は、元栓を閉め、漏水する箇所を施工し直してください。次に湯・水の混合具合を確認してください。低温しか出ない、または高温しか出ない場合は、「こんな時には…簡単な点検と対処」を参考に調節を行ってください。

* ご使用前に、必ず「使用する前に」●温度調節方法を参考に温度の調節を行ってください。

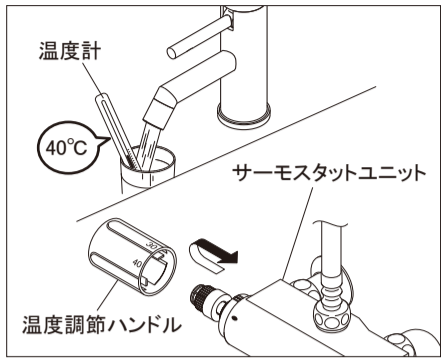
裏面へ続く➡

使用する前に

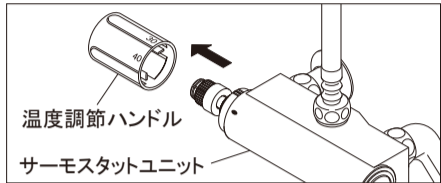
●温度調節方法

取付現場の状態によって目盛通りの吐水温度にならない場合は、下記の要領で調節を行ってください。

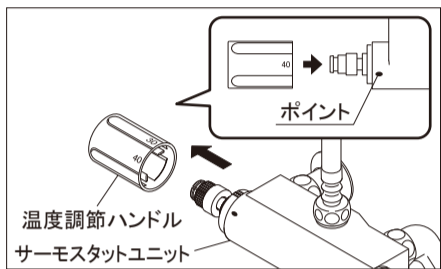
温度調節時の確認事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. クランクの水量調節弁は開いているか。 2. ストレーナーのゴミ詰まりはないか。 3. 給湯温度は十分であるか。
------------	--



①サーモスタットユニット本体を押さえながら温度調節ハンドルを抜き取り、再度、軽くはめ込んでから開閉弁を開きます。次に単水栓のハンドルを開いて温度計で測りながら、40°Cのお湯が出る位置まで目盛数値に関係なく、ゆっくりと温度調節ハンドルをまわしていきます。

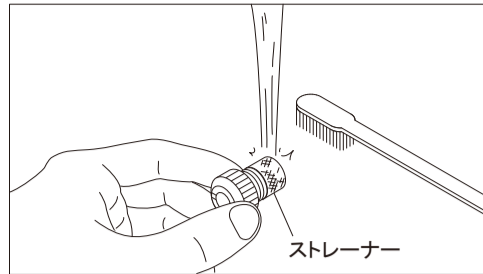


②吐水温度が40°Cになりましたら、温度調節ハンドルがそれ以上まわらないように注意しながら、温度調節ハンドルを抜き取ります。



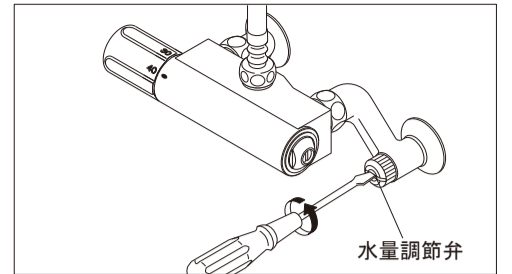
③温度調節ハンドルの「ポイント」がサーモスタットユニット本体の「40°C」の表示に合うように温度調節ハンドルをサーモスタットユニット本体にはめ込みます。
* 温度調節ハンドルをはめ込む際は、サーモスタットユニット本体をしっかりと押さえてください。

お手入れのしかた(つづき)



③ローレット部のストレーナーの網目に詰まったゴミをブラシなどで軽く洗い流します。

⚠ ストレーナーで指などをケガしないように注意してください。



④ストレーナーの掃除が終わりましたら、ローレット部を②の逆の手順で取付け、水量調節弁を覚えておいた回転数だけまわして元の位置まで開きます。

●器具のお手入れ



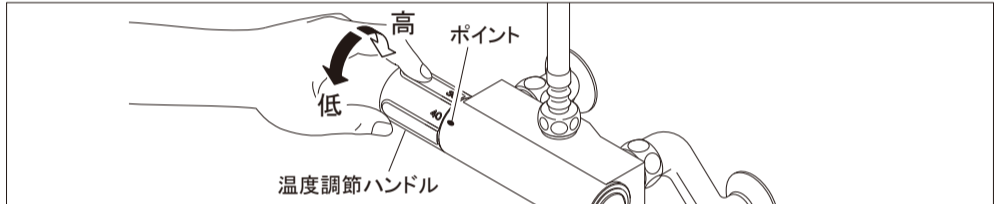
いつまでも美しくご使用いただくために。

- 水栓器具の金属部は…
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいでください。
- 水栓器具のプラスチック部・塗装面は…
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭取ってください。

⚠ 金属たわしやクレンザー・磨き粉など粒子の粗い洗剤・酸性や塩素系の洗剤・ベンジン・油などは、金属表面を傷つけたりプラスチック部・塗装面を傷めますので使用しないでください。

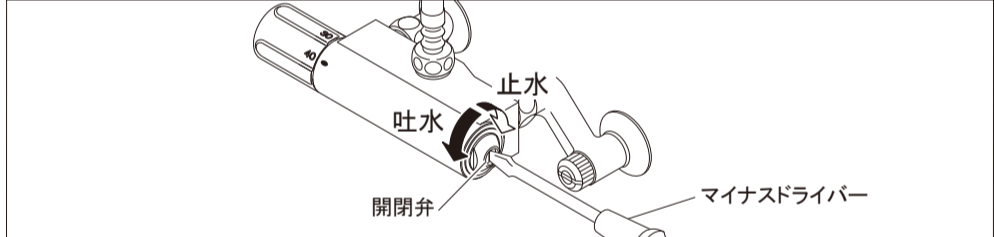
使用方法

●温度調節ハンドルの操作方法



温度調節ハンドルを手前にまわすと「低温の湯または水」に、後ろにまわすと「高温の湯」になります。
* 温度調節ハンドルの数字は吐水温度[摂氏(°C)]を示しています。

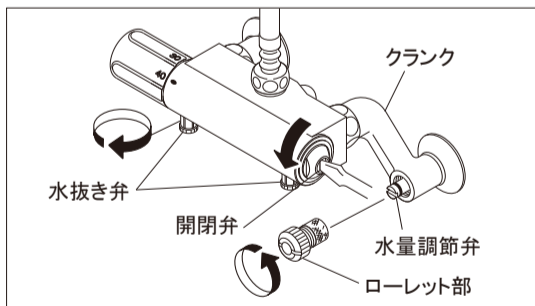
●開閉弁の操作方法



「マイナスドライバー」で開閉弁を手前にまわすと「吐水」、後ろにまわすと「止水」します。
* 通常の使用時は開閉弁を「吐水」にして単水栓のハンドルを操作してください。

●寒冷地用の水抜き方法

凍結の恐れがある場合は、ご使用後水抜きを行ってください。



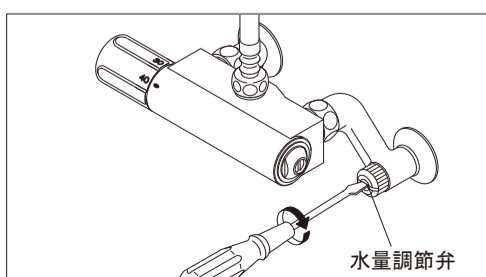
- ①配管の水抜き栓を操作して、水が出ないようにします。
- ②開閉弁を開き、単水栓のハンドルを開いて吐水状態にします。
- ③クランクからローレット部を湯・水側とも取外し水を抜きます。サーモスタットユニット本体下部にも水抜き弁が付いていますので、ここも外して水抜きを行います。
* ローレット部を取外す際は、水量調節弁が外れないようにご注意ください。

⚠ 湯側の水抜きをされる際は、クランクやローレット部が熱くなっていたり、高温の湯が出てくる恐れがありますのでご注意ください。やけどの恐れがあります。

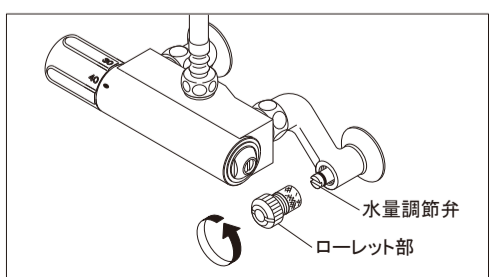
お手入れのしかた

●ストレーナーのお掃除

- ローレット部を取外す際は、クランクやローレット部が熱くなっていたり、高温の湯が出てくる恐れがありますのでご注意ください。やけどの恐れがあります。
- 必ず水量調節弁をしっかりと締付けて作業を行ってください。湯水が出て、やけどや家財などを濡らす恐れがあります。

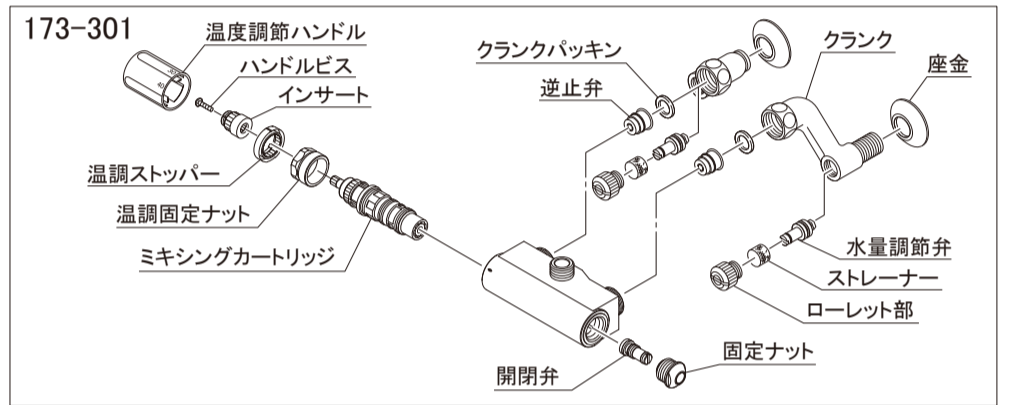


①水量調節弁を「マイナスドライバー」で湯・水側ともに締付けます。
* この時何周で止まったかを覚えておいてください。



②クランクのローレット部をまわして取外します。
* ローレット部を取外す際、水量調節弁が外れないようにご注意ください。

分解図



* 品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。
* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

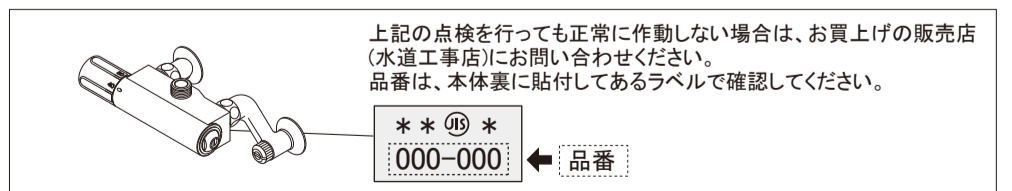
こんなときには・・・簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、分解図を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた	
温度調整不良	高温しか出ない	必要とする吐水温度より給湯温度が10°C以上高いかどうか、また、給水圧力に大きな変化はないかを確認する(別紙「安全上のご注意」の「●使用条件」をご参照ください) ●水側の水量調節弁が閉まっている ●水側のストレーナーの目詰まり ●ミキシングカートリッジにゴミが付着 ●ミキシングカートリッジの作動不良 ●水側の逆止弁が機能していない	●水側の水量調節弁を調節する ●ストレーナーのゴミを除去 ●ミキシングカートリッジのゴミを除去 ●ミキシングカートリッジを交換する ●逆止弁を交換する
	低温しか出ない	必要とする吐水温度より給湯温度が10°C以上高いかどうか、また、給水圧力に大きな変化はないかを確認する(別紙「安全上のご注意」の「●使用条件」をご参照ください) ●湯側の水量調節弁が閉まっている ●湯側のストレーナーの目詰まり ●ミキシングカートリッジにゴミが付着 ●ミキシングカートリッジの作動不良 ●湯側の逆止弁が機能していない	●湯側の水量調節弁を調節する ●ストレーナーのゴミを除去 ●ミキシングカートリッジのゴミを除去 ●ミキシングカートリッジを交換する ●逆止弁を交換する
目盛数値とお湯の温度が違う	目盛数値と吐水温度が違う場合は、「使用する前」に「●温度調節方法」をご参照のうえ、調整を行ってください		
吐水不良	吐水量が少ない	●湯・水側の水量調節弁が閉まっている ●湯・水側のストレーナーの目詰まり ●湯・水の水量に大きな差がある	●適正水量になるまで水量調節弁を開く ●ストレーナーのゴミを除去 ●水量調節弁を調節する
	全く吐水しない	●本体に湯・水がきていない ●湯・水側の水量調節弁が閉まっている ●湯・水側のストレーナーの目詰まり ●逆止弁が機能していない	●湯・水の元バルブを開く ●適正水量になるまで水量調節弁を開く ●ストレーナーのゴミを除去 ●逆止弁を交換する
止水不良	開閉弁の止水位置で漏水	●開閉弁のパッキンの磨耗または損傷	●開閉弁を交換する
	開閉弁からの漏水	●固定ナットの締付けがゆるい ●固定ナットのOリングの磨耗または損傷	●固定ナットを締付ける ●固定ナットのOリングを交換する

⚠ 本体内蔵のカートリッジや部品などは、絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

●修理を依頼されるときは



(販売元)

atelier DADA 株式会社
〒800-0217 福岡県北九州市小倉南区下曾根2丁目11-16
☎ (093) 967-8002

(製造元)

株式会社 **カクダイ**

0419GF

M-A8010

無断転載・複写を禁ず